

# 「江府町まち・ひと・しごと創生総合戦略有識者会議」による 令和6年度地方創生事業の検証について

開催日 令和7年9月9日（火）

## 有識者（敬称略）

産	江府町商工会 会長	川端 雄勇
官	日野県土整備局副局長（江府町担当コンシェルジュ）	竹内 友徳（欠）
学	広島経済大学 准教授	加藤 博和
金	鳥取銀行根雨支店兼生山支店 支店長	岩本 桂
金	山陰合同銀行江府支店 支店長	原田 直樹
言	（株）新日本海新聞社 西部本社 営業局長	山本 晋

江府町 白石町長、八幡副町長、生田総務課長、影山

## 有識者からの意見

### － 全体評価 －

○転出理由を分析し、転出阻止の対策を強化されたい。

○空き家の賃貸売買成立件数、住宅や用地に関する相談件数、転出先も県内が多いことから住宅に関するニーズは高い。これに対する施策及び奨学金支援制度や休耕田の提供など転入につながる施策を強化すれば人口減少に大きな効果が期待できる。

### － 基本目標Ⅰ 新しい人の流れの創出 －

#### ◆子育て環境満足度

・「一人一人に手厚い支援」「他市町村に住んでいた時より子育てがしやすい環境だと実感している」といった好評な意見の一方で、「子どもの遊ぶ場所」「公園（遊具等）を望む」意見もあり、全体的な満足度58%は低いと感じる。公園を望む声は、業務上で伺うこともある。改善を期待したい。

#### ◆空き家情報バンクの増加

#### ◆住宅及び用地に関する相談件数

・相談件数は540件と非常に多い上に、空き家の賃貸売買成立件数も17件と多いと感じる。更なる効果的な空き家の活用を期待したい。

#### ◆新たに整備した住宅等への世帯の転入

・住宅や用地に関する相談件数からも、住宅の需要は高いと考えられる。アパート等の建設をするにも、建設費の高騰から家賃に反映させて回収するにはリスクが高い。民間建設

アパートを町が借り受けるなど、そのリスクを回避できるような支援策があれば、住宅整備は増加する可能性が考えられる。

・「保育園らしくない保育園」のデザイン設計経費等のクラウドファンディングに目標額を大きく上回る寄附が集まり、4000人以上の方が寄附されている。返礼品目的もあるだろうが、保育園に関心を持っている方も含まれている可能性があると思うので、この関心や寄附金を活かす方策を考えられたい。

◆ふるさと納税額

・ふるさと納税のさらなる増加策を期待したい。

－ 基本目標Ⅱ 産業の創出 －

◆梨栽培面積

・梨は、現在のふるさと納税の返礼品上位リストの中にも含まれており、返礼品としても期待できる。

◆繁殖牛飼育頭数

特になし

◆法人営農組織数

特になし

◆地域内消費額

・今後さらに売上が減ってくると予想される。厳しい状況の中でも売り上げを伸ばしている店舗もあり、そこに参考になるヒントがあるかもしれない。  
・町内の人気のフレンチレストランと休暇村奥大山など宿泊施設とのアクセスを検討するなど、飲食・観光需要を取り込み、消費額の改善につなげられたい。

◆チャレンジ支援事業累計利用者数

・商工会も新規商品開発に力を入れており、奥大山ブランド認定商品の数も順調に伸びている。  
・レストランも好調であるならば、拡大や連携など可能性を探るのも良い。

◆新規就農者数累計

・気候のアドバンテージを活かし、米の収穫量増加の取り組みとして、事業者に休耕田を提供するなど、農地の貸し借りの調整ができれば拡大が期待できるのではないかな。

◆ジビエ加工品販売額

・毎年度販売額が増加している。需要があるようなので拡大を検討されたら良いのではないかな。

◆道の駅奥大山来客者数

- ・来客者の消費単価分析、駐車場の拡大をされ、さらなる集客につなげられたい。

－ 基本目標Ⅲ 地域人財の育成 －

◆まなびや縁側（公設塾）の江府町出身者受講生徒数

◆地域運営組織累計設立数

◆将来は江府町に住みたいと考える児童・生徒の割合

- ・アントレプレナーシップ教育事業は「町のために何かしたいと考えている生徒」を増やすのに効果的な事業となっており、引き続き工夫しながら実施していただきたい。

◆奨学金返済支援制度累計利用者数

- ・魅力的な支援であり、住宅整備が進めばさらなる利用者が期待され、人口の増加にもつなげられる。